

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘よい～

令和6年6月24日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 29
校長 田中 成年

＜大人は子供の「人として」の手本＞

～規則の尊重～

梅雨に入り、雨の多い日が続いています。下の写真のように、子供たちは傘をさし、レインコートや長靴を身にまとい、頑張って登校しています。

安全な登校へのご協力、ありがとうございます。



「学校だより NO. 27」で、校門付近での乗降を遠慮していただきたいというお願いに、ほとんどの方が応えてくださり、台数も減ってきております。ただ、「0」ではありません。お願いを見ていらっしゃる方がいるからだと思います。近くの方に、お声掛けをよろしくお願いいたします。

先週、11年目の先生2人がそれぞれの学級で「**特別の教科 道徳**」の研究授業を行いました。そのうちの一つの学級で、「**きまり**」「**規則の尊重**」について考えを深めました。ねらいの一つに「**進んできまりや約束を守って行動しようとする態度を育てる。**」とあります。子供たちは、「なぜ人の迷惑になるようなことをするのだろう」ということを学級全体で考え「**誰か一人でもしてしまうと、次から次にする人が出てくる。**」「**自分さえよければ**」などのいくつかの考えが出てきました。自身も振り返りながら、「なぜ迷惑行為が後を絶たないのか」「これから何をどう気を付けていけばよいのか」などについて、子供たちなりに一生懸命に考えていました。

子供たちがこのような学習をしている中で、**大人が決まりを守らないわけにはいきません。**子供たちの一番の教育環境は「**周囲の大人**」です。私たち大人が、子供たちの良い手本となるように一緒に考え行動してまいりましょう。